

配膳、レジ打ち みんな任せて

双葉、来月17日のみ開店

子ども主役のかき氷店



双葉町で8月17日、子どもたちが主役の「かき氷店」が一日限定で開店する。盛り付けから、配膳、レジ打ちを担当するのは全て子どもたちだ。原発事故による全町避難を経て、町内にはまだ子どもが遊べる公園や遊具は少なく、学校もない。それでも「子どもたちに古

里に愛着が持てるような、思い出をつくってあげたい」との願いで、町民有志の大人たちが準備を進めている。町内で2人の子どもの育てる高久田祐子さん(50)が発起人となり、有志による「双葉町の子どもに笑顔を送る有志の会」を発足してイ

ベントを企画した。高久田さんによると、町内に住む高校生以下の子どもは15人。2022年8月に町内の一部で避難指示が解除され、当初5人しかいなかった子どもが増えつつある中で「子どもの心が豊かになり、地域の人にとっても心に残るイベントをしたい」と考え企画した。子どもたちが着るエプロンやネクタイは、双葉町お裁縫クラブの協力で手作りで製作中だ。かき氷店は町内の地域活動施設「FUTAHOME(ふたほめ)」で開催する予定で、専門店の味を提供するという。高久田さんは「数年後でも大人になってからも、子どもたちが古里を思い出しやすい一日にしたい」と語る。

▲ 7月10日 福島民友新聞掲載

夏といえばかき氷。
みなさんは何味が好きですか？



記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ

(Where) イベントの会場はどこ？

(Who) 誰(どの団体)がこのイベントを企画？

(What) 何を

(How) 子どもたちはこのイベントでどんなことをする？

(Why) なぜこのイベントが企画された？